

# 小中学校の適正規模及び適正配置・学校給食センターの統合

## 桜川市立小中学校適正規模等検討委員会からの答申

市内の小中学校は、少子化の進行に伴い、年々児童生徒数が減少し、学校の小規模化が進み、今後も同様に推移するものと思われまます。また、北学校給食センターの老朽化も含め、今後の対策が課題となっております。

このことから、平成20年10月1日桜川市教育委員会から諮問をいたしました。「桜川市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する基本的考え方及び一体的の方策について」及び「学校給食センター統合に関する基本的考え方及び一体的の方策について」の2項目について、11回(毎月1回)の検討委員会が開催され、その審議結果が答申書として、平成22年1月20日桜川市立小中学校適正規模等検討委員会から提出されました。概要は次のとおりです。

「桜川市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する基本的考え方及び一体的の方策について」

### 〔基本的考え方〕

本市の小中学校は、茨城県が指針として示した適正規模以下の小規模学校が全体の約70% (11校) を占めている現状で、この傾向は今後も続くことが予想される。

アンケート調査結果を見ると、「適正な学級数について」の設問に対し、小学校では2〜3学級と回答した保護者が71.2%、中学校では2〜3学級が44.7%、4〜6学級が50.8%となり大部分の保護者が、ある程度の学校規模を望んでいるものと推測される。一方、「児童・生徒数が大きく減少すると予測される学校の今後について」の設問に対しては、「現行の学校配置を維持する」及び「通学区の弾力的運用を進め、現行の学校配置を維持する」と学校統合に消極的な意見が小学校では65.3%、中学校でも65.7%となつている。また、地域の区長・副区長のアンケート調査結果についても、数値に

多少の違いはあるものの小中学校の保護者と同じ傾向となつている。

また、アンケート調査から①個に応じた指導・丁寧な指導による学力向上②子ども同士、子どもと教師の人間関係③他に頼らない自己判断による積極的な態度等に役立つところが大きい等小規模校のメリットも伺われる。

本検討委員会は、市内小中学校の現状と課題及びアンケート調査結果を踏まえ、慎重に審議した結果、アンケート調査結果同様、小中学校ともに統廃合には消極的な意見が多い。しかし、今後、更に児童生徒数が減少し学校の小規模化が進むことが予想されるため、それぞれの学校規模別のメリット・デメリットはあるものの、将来的には子どもの教育という観点から見た場合、ある程度の学校規模を確保するための統廃合は必要と考えられる。なお、統廃合を進めるに際しては、単なる統廃合ではなく、

子どもたちの学力や資質向上に寄与すること並びに地域のコミュニティ形成における学校の果たす役割の重要性を認識し進めることを基本とする。これら基本的考え方を踏まえ、本検討委員会としては、小中一貫教育を視野に入れた統廃合を進めることが望ましいと考える。

なお、現状のなかで、より効率的な教育活動を進めるために、小中一貫教育に至る当面の基本的考え方を提言する。

- ①各学校において、異年齢による集団活動を積極的に進める。
- ②小学校においては、他校との交流を実施し、大きな集団の中での活動を通じて社会性等を学ばせる。
- ③小中学校ともに少人数学級(1クラス30人以下)を全学年にわたって実施し、個に応じた指導を通して学力の向上を図る。
- ④複式学級はできるだけ避ける。
- ⑤小中学校ともに通学区の弾力的運用を図る。
- ⑥中学校については、1教科1教師の場合が考えられるので、優れた教員の確保を図る。

### 〔一体的方策〕

市内小中学校の児童生徒数は、年々減少しており(平成10年度対比小学校・765人減、中学校・516人減)今後とも減少傾向は続くことが推察される。また、小学校においては、施設の老朽化が進み5年後、10年後を考えた場合、学校の適正配置について真剣に検討する必要がある。

本検討委員会では、基本的考え方等で示したように、当面の間は、児童生徒数の推移に十分留意しながら、提言した事項の推進に努められ、現行の学校配置を望むものである。しかし、将来において更に小規模化が進んだ場合には、小学校と中学校の枠を超え、9年間を一つのステップとした学校間の連携システムを構築していくことで、義務教育期間の学びの連続性を確保できるという小中一貫教育の導入を、5つの中学校区を基本に考慮していくべきと考える。

このため、桜川市として、小学校のみの統廃合ではなく、中学校も含めて現在の中学校を拠点とした小中一貫教育の体制づくりを計画的に推進されるよう答申する。

なお、小中一貫教育の特色及びメリットとして考えられる主な事項は、以下のとおりである。

- ①義務教育9ヶ年を通し一貫した教育課程の実施
- ・例・6・3制、4・2・3制等
- ②施設の共有化
- ・体育館、プール、図書室、調理室等
- ③小学校高学年における専科指導の推進
- ・音楽、図工、外国語活動等
- ④小学校高学年の部活動への参加
- ⑤小中一貫としての集団活動や行事への参加
- ・運動会、文化祭、奉仕作業等

### 「学校給食センター統合に関する基本的考え方及び一体的方策について」

#### 〔基本的考え方〕

本検討委員会は、学校給食センターの現状等を踏まえ検討した結果、老朽化が進んでいる北学校給食センターについては、安全面・衛生面を考慮して改築又は統合することが望ましいとの意見で一致した。

さらに、改築、統合について

議論を重ね、改築するには、敷地が狭小であること。また、今後とも幼児、児童生徒数の減少が予想されるなか、2つの学校給食センターを管理運営していくことは、厳しい市の財政状況を考慮した場合大変困難であることなどから、統合することが望ましいとの意見で一致した。

### 〔一体的方策〕

前記の基本的考え方に基づき、統合の方法について議論がなされ、次の2案が提案された。

- ①新築に要する費用と南学校給食センター敷地内に増築する費用を比較検討し、余り相違がない場合、また、学校給食センターから各学校への搬送時間を考慮し、南・北学校給食センターを廃止し、新たな場所(市の中央)に学校給食センターを新設する。
- ②今後とも幼児・児童生徒数の減少が予想されるため、施設の過大投資を極力避け、現在の南学校給食センターの調理能力(3,000食/日)を基本ベースとし、建設時に不足する供給能力をカバーする施設を増築することが望ましいとの観点から、南学校給食センター敷地内に北学校給食センターの調理能力を

**免許取得応援** 他県の方ガソリン代として **5,000円** クオカードをプレゼント!

**大型二種 287,440円** (総額) 3車種セットプラン 技能料金追加なし

**大型一種 219,820円** (総額)

真岡自動車教習所 真岡市下鷺谷103 0285-84-6185 技能追加料金、解約手続き等はこちらへご連絡ください。

節約派も豪華派も思い描く結婚式が叶う! 「予算」がなくてももう諦めないで。まるごと含まれた安心プランの登場。

**新生活応援パック** おひとり様20,000円~ 30名様で60万円、100名様で200万円、200名様で400万円

**夏だからできる 結婚式** 7/1(木)~9/5(日)まで

**5万円の成約金プレゼント**

小さな結婚式 平日59,800円 土日祭日98,000円